



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月8日

上場会社名 ゼット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 林賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	21,116	6.0	331	45.3	396	40.4	300	45.3
30年3月期第2四半期	19,914	1.7	228	166.0	282	97.3	206	79.1

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 728百万円 (98.9%) 30年3月期第2四半期 366百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	15.34	
30年3月期第2四半期	10.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	22,346	9,479	42.4	484.24
30年3月期	21,113	8,828	41.8	451.03

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 9,479百万円 30年3月期 8,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		4.00	4.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 30年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 2円00銭

31年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 2円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.0	520	2.6	600	1.9	460	13.3	23.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	20,102,000 株	30年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	526,882 株	30年3月期	526,846 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	19,575,147 株	30年3月期2Q	19,575,161 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加により、緩やかな景気回復基調が続いております。一方、海外経済は通商問題の動向が与える影響懸念や国内各地で発生した自然災害等により先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、①自社品の強化、②卸ビジネスの進化、③新規商品、新規流通の開拓と新規事業へのチャレンジ、④生産性の向上、⑤人財の活性化・情報システムの整備と高度化・物流機能の強化、⑥グループ内の連携強化を基本方針とし、業績向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,116百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は331百万円（前年同期比45.3%増）、経常利益は396百万円（前年同期比40.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は300百万円（前年同期比45.3%増）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、「アスレチックス」マーケットにおいては、競技ウェア、バスケットボール用品が苦戦したものの、競技シューズは好調に推移し、野球・ソフトボール用品、卓球用品が引き続き堅調に推移しました。また、サッカー用品については、ワールドカップ開催等により堅調に推移しました。シウラスポーツ用品㈱からの事業譲受により、取扱いブランド等が増加し、「ライフスタイル」マーケットは、バッグ、シューズ、アウトドア等が好調に推移し、「ボディケア」マーケットは、健康志向の高まりもあり好調に推移しました。

この結果、売上高は20,204百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

(製造部門)

製造部門は、収益性を意識し、MD力、商品企画、開発力の強化並びに品質向上に努めました。野球・ソフトボール用品においては、一般軟式FRP製バット「ブラックキャノンZⅡ」やオーダーグラブ等が引き続き高評価を得るとともに、硬式プロテクター「プロステイタス」の認知度が高まり堅調に推移しており、また、原価改善も順調に推移しました。「コンバース」のバスケットボール用品においては、ゲームウェアは販促活動により高評価を得て堅調に推移したものの、他社の新規参入の増加によりTシャツ等が低調に推移しました。健康関連用品は、低調に推移しました。

この結果、売上高は183百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

(小売部門)

小売部門は、登山用品ECサイト「ロッジ PREMIUM SHOP」は引き続き堅調に推移しましたが、店頭においては、天候不順や自然災害の影響等により低調に推移しました。

この結果、売上高は213百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

(その他部門)

スポーツ施設運営部門は、プログラム充実やトレーニングマシンの新規導入など満足度向上に努めましたが、近隣の競合店との競争激化が続いており、会員数は減少し低調に推移しました。物流部門は、外部受託業務における取扱いを増加させたことにより堅調に推移しました。

この結果、売上高は516百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は17,010百万円となり、前連結会計年度末に比べ688百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,020百万円、商品及び製品が72百万円増加したことによるものであります。固定資産は5,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ544百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が576百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は22,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,233百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は10,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ467百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が606百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,294百万円となり、前連結会計年度末に比べ115百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が174百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は12,867百万円となり、前連結会計年度末に比べ583百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計年度末における純資産合計は9,479百万円となり、前連結会計年度末に比べ650百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が222百万円、その他有価証券評価差額金が396百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.4%（前連結会計年度末は41.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月14日の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。なお、第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異においては、本日（平成30年11月8日）公表しました「第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,748	4,768
受取手形及び売掛金	8,271	7,684
電子記録債権	698	861
商品及び製品	3,321	3,393
仕掛品	43	40
原材料及び貯蔵品	136	145
その他	160	177
貸倒引当金	△58	△61
流動資産合計	16,321	17,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,868	2,869
減価償却累計額	△2,104	△2,128
建物及び構築物 (純額)	764	741
土地	1,228	1,228
その他	891	909
減価償却累計額	△774	△803
その他 (純額)	116	106
有形固定資産合計	2,108	2,075
無形固定資産		
その他	78	73
無形固定資産合計	78	73
投資その他の資産		
投資有価証券	1,982	2,558
長期貸付金	24	20
敷金	245	249
その他	420	439
貸倒引当金	△69	△80
投資その他の資産合計	2,604	3,186
固定資産合計	4,791	5,336
資産合計	21,113	22,346

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,621	6,466
電子記録債務	2,187	2,794
短期借入金	200	169
未払法人税等	27	116
未払消費税等	188	103
賞与引当金	207	316
返品調整引当金	49	65
その他	623	539
流動負債合計	10,105	10,573
固定負債		
長期借入金	209	139
繰延税金負債	479	653
退職給付に係る負債	359	366
長期未払金	267	267
その他	863	866
固定負債合計	2,178	2,294
負債合計	12,284	12,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,839	4,061
自己株式	△74	△74
株主資本合計	7,739	7,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,101	1,498
繰延ヘッジ損益	△14	18
為替換算調整勘定	20	16
退職給付に係る調整累計額	△17	△16
その他の包括利益累計額合計	1,089	1,517
純資産合計	8,828	9,479
負債純資産合計	21,113	22,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	19,914	21,116
売上原価	16,122	17,039
売上総利益	3,792	4,077
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	242	243
運賃及び荷造費	385	400
賃借料	121	129
役員報酬及び給料手当	1,242	1,324
貸倒引当金繰入額	△0	21
賞与引当金繰入額	236	296
減価償却費	67	63
その他	1,269	1,266
販売費及び一般管理費合計	3,564	3,745
営業利益	228	331
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	24	37
受取賃貸料	8	9
業務受託料	20	7
その他	22	29
営業外収益合計	76	85
営業外費用		
支払利息	1	0
売上割引	19	18
その他	2	0
営業外費用合計	22	19
経常利益	282	396
税金等調整前四半期純利益	282	396
法人税、住民税及び事業税	75	96
法人税等合計	75	96
四半期純利益	206	300
親会社株主に帰属する四半期純利益	206	300

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	206	300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	165	396
繰延ヘッジ損益	△6	33
為替換算調整勘定	△0	△4
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	159	428
四半期包括利益	366	728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366	728

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	282	396
減価償却費	70	65
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	108
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8	7
受取利息及び受取配当金	△25	△38
支払利息	1	0
売上債権の増減額 (△は増加)	1,071	424
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△304	△77
仕入債務の増減額 (△は減少)	△316	452
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△129	△84
その他	90	△24
小計	712	1,244
利息及び配当金の受取額	25	38
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△84	△20
営業活動によるキャッシュ・フロー	652	1,261
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21	△31
無形固定資産の取得による支出	△6	△2
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
長期貸付金の回収による収入	2	4
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
その他	△5	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△140	△100
配当金の支払額	△58	△77
その他	△27	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△226	△202
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	389	1,020
現金及び現金同等物の期首残高	3,359	3,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,748	4,468

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。